

平成26年度 農業委員会事務局
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命 農業委員会の適正な運営及び耕作放棄地を解消し農地の有効利用を促進させる。	1.農業委員会の適正な運営	・農地法等関連法令に基づいた適正な案件の処理を行う。	・研修等を通じての職員の研鑽、改選に伴う新規委員研修の支援、農業委員への情報提供等の支援、府との綿密な調整を図る。	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分 ('B重点目標項目'単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	2.耕作放棄地の解消	・市内の耕作放棄地を新規発生を含め3haの解消を目指す。 ・利用状況調査を基に、農地中間管理事業の「農用地利用配分計画案」の策定に協力する。	・日々の農地パトロールや「農地利用状況調査」を実施し、適正に利用されていない農地所有者等については、是正指導を行うと共に、農地バンクへの登録、農地中間管理事業等を通じて担い手等への利用集積を図る。また、農地耕耘作業受託制度の活用により農地の荒廃化を防ぐ。	職員研修を延べ22人、委員研修を延べ79人実施するとともに、毎月の総会において委員活動及び資質向上に必要な資料を提供した。さらに、各委員とは情報の共有を図るべく綿密な連絡体制で臨み、府、農業会議との協議、指導を受けながら委員会の適正な運営を行った。	A	
	3.違反転用の発生防止	・適法な転用行為を指導することで違反転用の発生を防止する。	・前年度の転用許可案件の総点検を年1回行うと共に、日常的な監視強化による早期発見を目指し、違反者には是正指導を行うことで解消を図る。	耕作放棄地解消について は、目標面積3haに対して 2.8haの実績で各委員の 熱心な指導により、達成率 94.3%とほぼ目標面積 を達成できた。中間管理事業 に関する「農用地利用配 分計画案」については策定 されなかったが、農地バン クの周知・活用により約 1.0haの契約及び契約見 込みの実績となった。	B	
				5月と7月に発見された農地違反転用については、府とも連携するなかで、ほぼ復元、撤去の見込みまで対応できたが、年度内に解決することはなかった。	C	1件については、4月中に復元の目途が立っており、もう1件についても放置車両及びユニットハウスについては撤去が完了しており、農地内の碎石等の撤去に向けて原因者3名に継続した指導をしているところである。

※【目標の達成度の区分:A. 達成できた、B. 概ね達成できた、C. 達成できなかった】

平成26年度 農業委員会事務局
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命 今年度取り組む事項	4. 農業委員会の情報発信	・農地の適正な利用(耕作放棄地及び違反転用発生防止に向けた啓発活動)、農業の活性化(利用権、農地バンク制度、農地耕耘作業受委託制度の周知活動)、委員会活動の可視化を図る。	・年度内に3回の発行を目指し、広報アイデア委員会の開催、編集作業、取材等を行い、充実した紙面作りを目指す。 ・また、ホームページを活用し、鮮度の高い情報発信を図る。	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分 (「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	5. 農地基本台帳の整備	・農地基本台帳が本年度から法制化されたことに伴い、旧台帳からデジタルデータ化された内容の精度を高める必要がある。	・昨年度補助金事業を活用して点検された旧台帳及び総会資料等とデジタルデータとの不整合を着実に修正していく。	7、11、3月に広報紙「のうぎょう委員会」を発行し、4年連続で府下コンクール3位を獲得した。一般市民からは回覧にも関わらず、毎回のプレゼントクイズとともに、誌面に対する評価も広くいただいている。HPについても、最新の委員会活動を掲載し、活動の見える化に努めた。	A	今後も日常業務に加えて、台帳の公開に対応できるよう、地道に着実にデータの修正を進める。

※【目標の達成度の区分:A. 達成できた、B. 概ね達成できた、C. 達成できなかった】